

食堂&売店 **春だ!**
お弁当だ! 動物園でお外ランチしよう!!

寒い冬も終わり、クジャクやダチョウのオスが羽を広げてメスに恋の猛アピールをしたり、メジロたちがちょろちょろ飛び回る様子を観察できる季節になりました。すっかり春ですね、お天気がよい日は外でランチでもしたくなります。食堂では、この度ピクニック気分を味わっていただけるお弁当3種の販売を始めました!!

お米大好きっ子には...
ホワイトタイガー弁 税込 500円



チキンライスと鹿児島県産鶏唐揚げ、薄焼き卵が白米のホワイトタイガーを引き立てます!! もりもり食べたなら園内を一周しても体力が持つ、かも!?

※各種お弁当のトッピングに使用する食材が変更となる場合があります。ご了承ください。

オムライス大好きっ子には...
コアラ弁 税込 500円



チキンライスの上にコアラ形の卵焼きを乗せてオムライス風に仕上げました! 耳と鼻には鹿児島県産「薩摩ハーブ悠然どり」を使用したチキンナゲットを使用し、お子様の好物を揃えました。あっと言う間に完食間違いなし!?

鹿児島の味を
楽しみたい方には...
滋味弁(しみべん) 税込 500円



鹿児島人の大好物!そして鹿児島に来たらぜひ食べていただきたい「キビナゴの唐揚げ」と「薩摩鶏のから揚げ」が入っています!おにぎりの一つには「枕崎産かつお節」をまとうせ、なんとも滋味深い味わいのお弁当になっています!

期間限定 喉が渇いたら「象舎前売店かられあい売店」へ
駆け込むべし!!

赤字覚悟!?!のマイボトルサービス!

一律
税込160円
(Mサイズと同価格)



春とはいえ、鹿児島の最高気温は20度を超える日も珍しくありません。園内を一回りすると喉も渇き、園路も終盤に差し掛かった「ふれあいランド」周辺に来ると水筒もからっぽ…。そんな経験のある皆さんへ朗報です!この度、マイボトルサービスを始めました!タンブラーでも携帯マグでも、水筒でもOK!ボトルを持ってご来園ください(上限500ml)。あなたのボトルを「いっぱい」にします!!

※対象ドリンクは、象舎前売店は緑茶、オレンジジュース、メロンソーダなど6種類、ふれあい売店はコーラ、緑茶、カルピスの3種類です
※ドリンクがなくなり次第サービスは終了致します

園内では休養広場、白鳥池前のベンチ、ゾウ舎前広場などでお食事を召し上がっていただくことができます。これから気持ちの良い日が続きますので、ぜひ動物園でピクニック気分を楽しんでみてはいかがでしょうか??



お願い

- 動物たちに食べ物あげないでね!
- ゴミ箱を各所に設置していますので、食べた後はゴミ箱へお願いします!

ZOOと平川



特集

ワオキツネザルの人工哺育



鹿児島市 平川動物公園

〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1
TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328
■開園時間:午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)
■休園日:12月29日~1月1日
URL <https://hirakawazoo.jp/>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hirakawazoo>
Twitter <https://twitter.com/hirakawazoo>
YouTube <https://www.youtube.com/c/hirakawazoo>

動物取扱業の種別:展示、販売、保管、貸出 登録番号:生衛動取 第614号、第615号、第616号、第617号
登録年月日:令和3年5月11日 有効期限の末日:令和8年5月11日 動物取扱責任者氏名:桜井普子

携帯サイトへ
アクセス!



ZOOと平川 vol.33 2022年4月発行

編集・発行



〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号
TEL.099-221-5055 FAX.099-223-5690
URL <http://k-kouenkousya.jp>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/k.kouenkousya>

ワオキツネザルの

人工哺育

～ヨカゼが群れに帰るまで～

ワオキツネザルの島では、3月から5月にかけてが出産シーズンです。昨年は少し早い2月に2頭が誕生しました。そのうちの1頭は、母親が上手く育てることができなかったため、飼育員が母親に代わって育てることになりました(人工哺育といいます)。発見したときは、こんなに小さな命が育つのか不安でしたが、すくすくと成長する姿に「しっかりしなければ!」と人工哺育を進めていきました。

名前が「ヨ」から始まる家系なので、「ヨカゼ」(メス)と名付けました。今回は、「ヨカゼの成長と群れに帰るまで」をご紹介します。



こんな動物

分類: 霊長目キツネザル科
分布: マダガスカル島南部
主食: 果実、木の葉、昆虫(雑食)

誕生



2021年2月24日に生まれました。しかし、母親が抱きかかえる様子がなかったため人工哺育で育てることになりました。発見したときは少し弱っている様子で、すぐに園内にある動物病院に運びました。

ミルク



▲ミルクを与えている様子

初めは、ヒト用ミルクを2～3時間おきに与えました。まるでヒトの赤ちゃんのような間隔ですが、飲む量は1～2ml程度。体が小さいので、話ませないように慎重に与えます。また、便の状態や飼育室の気温・湿度にも注意します。少しの変化が小さな命には危険なのです。



▲保育器の中で過ごしていました

離乳食

41日齢

41日齢から離乳食を開始しました。それまではミルクのみでしたが、少しずつ固形物を食べられるようになっていきました。バナナやリンゴをすりつぶしたものをシリンジに入れ、少しずつ与えます。92日齢からは自分で食べられるようになりました。



▲バナナのすりつぶし



▲161日齢で固形のエサを食べるように

引越し

54日齢

順調にすくすく育ち、動き回るようになってきたので大きなケージにお引越ししました。体がしっかりしてきて、飛び跳ねるように。葉っぱをくわえたり、柵を登るようになりました。



▲担当者がプレゼントしたぬいぐるみも一緒に



▲歯が生えて、体も大きくなってきました

群れに戻る練習を開始!

55日齢

当園のワオキツネザルたちは、池にある島状の展示場(以下ワオ島)で群れ飼育を行っています。55日齢から、「群れ」で暮らせるようにワオ島での練習を開始しました(同居練習)。飼育員は母親の代わりに育てることはできますが、群れでのルールや挨拶の仕方などワオキツネザルとして生きていくために必要なことは教えてあげることができません。群れで暮らすということは、とても大切なことなのです。



▲同居練習に向かうヨカゼ。ぬいぐるみを抱き締め不安な様子



▲同居練習中



▲ヨココとヨカゼ

同居練習が続く

148日齢

日に日に大きくなり、同居練習も継続して行いました。初めは担当者が付き添いながら行っていたのですが、少しずつヨカゼと群れの個体のみでの練習も始めました。飼育員二人体制で監視を行い、ヨカゼが他の個体に攻撃された時や、池に転落しそうになった場合にすぐに助けにいけるようにしました。5分～10分の練習から始めましたが、私自身もドキドキしてとても時間が長く感じました。ヨカゼも初めての環境に驚いていたようですが、慣れようと頑張ってくれていたと思います。練習を重ねるうちに、ヨカゼや私自身も慣れてきたので少しずつ同居の時間を長くしていきました。



▲木の上で緊張している様子



▲少し慣れてきたかな?

群れに馴染めるかな?

242日齢

同居練習も順調に進み、この頃は一日中島で暮らすようになりました。しかし、なかなかエサを食べにいけず1頭で過ごす姿が多くありました。それでも、私たち人に慣れてしまうと群れの仲間として暮らしていけなくなります。心の中で「がんばれ〜!」と思いながら見守りました。

すると、ヨカゼが他の個体に近づき、大人たちが匂いを嗅ぎに来たり少しずつ群れに馴染む姿が増えていきました。

その後も、仲の良い個体と一緒にいたり、木を駆け登ってみたり、徐々にワオキツネザルらしい姿になっていきました。群れで暮らすうちに、ワオキツネザルとして必要なことを覚えていったようです。



▲群れの仲間たち



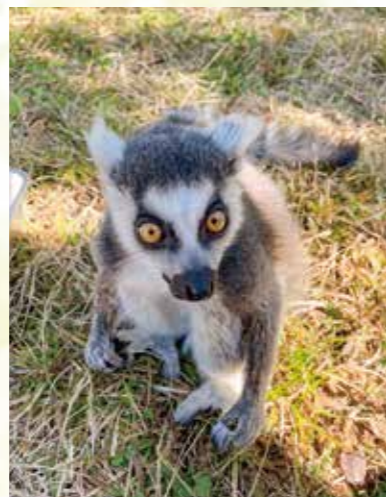
▲木の間からのぞいています

1歳になりました!

2月24日に1歳になったヨカゼ。群れのみんなと一緒に祝いしました!小さかった体も大きくなりました。無事に1歳の誕生日を迎えることができ、よかったです。これからも健康で幸せに暮らせますように♪



▲誕生日のケーキ



▲体重は810gになりました



▲トマトをほおぼるメロン



▲みんなで仲良くいただきます

ワオキツネザル島で暮らす日々

1歳目前になると、すっかり群れに馴染み、様々な姿を見せてくれるようになりました!太陽に向かって日光浴をしたり、毛づくろいをしたり。他の個体と一緒に鳴き声を出したりうたた寝したり。ずいぶんワオキツネザルらしい姿になりました。そんな姿に、私もとても嬉しくなりました。



▲みんなで日光浴



▲ヨカゼもトマトをゲット!

これまでの成長記録



うまれたころ



ゲンボールの中で暮らしていました



体重測定230g



エサを食べてご満悦



ミルクを飲むのも慣れてきたよ



みんなで日光浴

おわりに

ヨカゼの成長記録はどうでしたか?私自身も飼育員として人工哺育をすることは初めての経験で、命の大切さや動物に向き合う姿勢など多くのことを学ぶ機会となりました。

また、この1年間多くの方にお手伝いいただきヨカゼも成長することができました。ヨカゼ自身が一生懸命生きようとしてくれたこと、群れの個体が受け入れてくれたこと、担当者として「本当にありがとう」という気持ちです。ワオキツネザルはワオキツネザルらしく、群れの個体がこれからも健やかに暮らせるようにサポートしていきたいと思ひます。

また、ヨカゼのことを知ってワオキツネザルについて少しでも興味をもっていただけたら嬉しいです。ぜひ動物園に会いにきてくださいね!

担当: 松本菜麻



見るだけじゃない!動物園の楽しみ方

てのひら
どうぶつえん
やっています!!



平川動物公園では、亡くなった動物から採取した体の一部(または全部)や、今も元気で過ごしている動物の副産物(羽や体毛、卵など)を「標本」として保管し、団体向けの学習プログラムの教材や、各種イベント、動物ガイドなどで活用しています。一部は展示用ガラスケースに入れて常設展示していますが、標本のほとんどは収納ボックス内で保管し、必要に応じて使用しています。

見るだけじゃない!動物園の楽しみ方

てのひらどうぶつえん

12月3日の国際障害者デーにちなみ、視覚障害があっても楽しく学べるよう、いろいろな標本をご用意しました。トラの頭骨、ライオンのツメ、クマの体毛などを実際にさわりながら、楽しく学ぶことができます。(どなたでも体験できます)

場所: どうぶつ学習館
(スタッフにお声掛けください)

今回のテーマは... 『鳥の卵』

視覚などに障がいがある方など、より多くの方に標本を使って動物の体について知っていただくことを目的として、2020年12月に「てのひらどうぶつえん」は始まりました。これまで

「肉食動物」「草食動物」「鳥類」「は虫類」

4つのテーマに沿った様々な標本を紹介し、のべ638名の方に参加していただきました。(2022年2月現在)

このポスターを
チェックしてね!

スタッフが1グループ毎に解説をしながら、標本に触れていただきますので、これまで行っていた標本タッチングよりじっくりと観察し、その場で疑問を解決することができます。

私達スタッフも、お客様からの質問を受け、新たな視点に気付くことができます。実際に障がいのある方の参加はまだ少数ですが、これをきっかけにお手伝いが必要な方にも動物園に足を運んでいただき、不思議が詰まった動物の体のつくりを「触覚や嗅覚、聴覚を使って」知っていただけるよう続けていきたいと思えます。どうぶつ学習館の「てのひらどうぶつえん」でお待ちしています!



▲「は虫類」がテーマのときはカメの甲羅やワニの頭骨がずらり



▲見やすくわかりやすいラベルを心掛けていきます

障害者週間、国際障害者デーとは??

12月3日～12月9日は「障害者週間」です。平成16年6月の障害者基本法の改正によって、国民が広く関心と理解を持つことと、障がいを持つ方が社会・経済・文化その他あらゆる活動に参加することを促進するために定められました。12月3日は、1982年に「障害者に関する世界行動計画」が国連総会で採択された日で「国際障害者デー」、12月9日は1975年に「障害者の権利宣言」が国連総会で採択された日で「障害者の日」、とされており、この期間が「障害者週間」とされています。(内閣府ホームページより抜粋) 「てのひらどうぶつえん」は、障害者週間に合わせてスタートしました。



? 平川動物公園ミステリー 「犯人をさがせ!!!」

最近、平川動物公園のエサを保管している倉庫や調理室、冷蔵庫から「エサがなくなる」という事件が頻発しているらしい。犯人の手掛かりは、無くなった「エサ」と残された足跡のみ。犯人は一体どの動物か、一緒に考えてみてくれ!!

なくなったエサ

現場に残されていた足跡



ブロイラーや馬肉



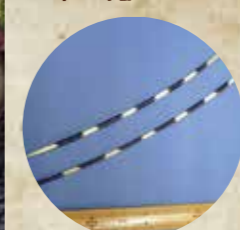
野菜や果物、食パンなど

こんな跡も
残されていた!



野菜やイモ

足跡の近くにこんな
物が落ちていた!



ハチミツ

どうやら細い穴から
なめたようだ!



犯人はわかったかな? 正解は次ページへ! 急げ!!!

犯人は…この動物だ!!



ヤブイヌ



まえあしには5本の指。ただし、親指は離れて付いていて、足跡には残らないぞ!少し離れて付いていたのは、「手根骨」という骨を守る「手根球」。クッションのような役割をするんだ。



ジェフロイクモザル



残されていた細長い跡は、尾だった!物をつかむことができるように、裏側には毛が生えていないんだ!!長い指を持つが、手の親指は退化している。



アフリカタテガミヤマアラシ



指は5本あるが、やはり親指は足跡には残らない。足裏全体をつけて歩くので、肉厚。落ちていた物は、体を覆う針だった!生えている場所によって太さが違うぞ!



キンカジュ



指は5本。木の上で暮らしているから鋭い爪があるぞ!細長い舌で花の蜜を吸ったりするんだ。蜜の他には果実を食べるが、今回はハチミツにまっしぐらだったようだ。



なんとか解決できて一安心…。みんなはわかったかな??動物園では、動物たちが足の裏を見せてくれるときもあるし、展示場に足跡が残っているときもあるから、注目してみてください!!

※これはフィクションです。実際に動物たちが倉庫や調理室からエサをとって食べることはありませんので、ご安心ください。

※6ページで使用した動物の足型は、麻酔下の健康診断時に水溶性のインクを使用してとったものです。

コアラの 名前が決定 しました!

ヒナタ
(メス)

2021年3月27日生まれ

父

ブンダ

母

ヒマワリ



本誌32号でご紹介したコアラの子ども2頭の名前について、一般公募により応募のあった総数726(2頭合わせると1452)票の中から選定会議を行い、名前が決定しました。

顔は母親のヒマワリそっくりです。性格は好奇心旺盛で、同居しているキボウとも一緒にユーカリを食べることがあります。日なたのように暖かく明るく育ててほしいと込めて「ヒナタ」と名付けました。

ライト
(オス)

2021年5月14日生まれ

父

バンブラ

母

イト



性格は甘えん坊で、母親のイトによくくっついてます。父親と母親の名前をもらい、コロナ禍を明るく照らしてほしいと願いを込めて「ライト」と名付けました。



2022年2月27日に「コアラの名前命名式」を行い、お披露目となりました。今回は「まん延防止等重点措置」の適用期間中だったため、命名者とそのご家族のみでの開催となりましたが、ヒナタとライトも登場し、始終和やかな雰囲気となりました。

飼育担当者より一言

たくさんのご応募ありがとうございました。みなさまのご協力のおかげで2頭に素敵な名前を付けることができました。2頭のかわいい姿と成長の様子を見に平川動物公園へ是非遊びに来てください。



むぜもんじや

むぜもんじや: 鹿児島弁でかわいいねの意味

コアラ

こんな動物

分類: 有袋目コアラ科
 分布: オーストラリア
 生息環境: 林帯
 食性: ユーカリ

ユーカリの林に単独ですんでいます。鋭い爪を持ち、枝を握ることができる手指の構造をしており、樹上での生活に適しています。朝と夕方に活動し日中は樹上で眠ります。他の動物にとって有害な成分を含むユーカリを主食とするため、非常に発達した盲腸と肝臓を持っています。

父親: ブンダ 性別: メス
 母親: ジェイン 生年月日: 2021年6月29日
 (2022月1月18日 出袋)



袋から顔の一部を覗かせる

1月18日 全身が袋から出ている様子を観察できました。その後は袋の中に入っていることが多く、体の一部が袋からでている事が多かったです。



背中に乗る

2月に入ると袋の外にいる時間が長くなってきました。ジェインのお腹の上で休んでいることが多いですが、時々背中や肩にしがみつくとなど元気に行動しています。

Newface

ニューフェイス

ルリカケス

国の天然記念物及び鹿児島県の県鳥に指定

性別: オス1羽とメス1羽のペア
 生年月日: オス2013年4月に奄美大島で保護
 メス2016年3月11日
 分類: スズメ目カラス科
 分布: 日本(奄美大島・加計呂麻島・諸島)
 食性: 雑食(昆虫などの小さな生物・木の実・果物など)

こんな動物



きれいな瑠璃色の羽を持っています



巣箱の周辺にいるペア

2021年12月17日、東京都恩賜上野動物園(以下上野動物園)から来園しました。生息地の一つである奄美大島では保護活動が行われており、平川動物公園でも上野動物園と協力して繁殖活動に取り組んでいます。

来園直後は落ち着きなく飛び回っていたものの、今ではエサをよく食べ、ゆっくり休憩している姿も見せてくれています。名前の通りきれいな瑠璃色の羽を持ちますが、鳴き声は小鳥のようなかわいい声だったり、カラスの仲間らしくとても大きな声で鳴いたりもします。ぜひきれいな羽や様々な鳴き声に注目してみてください!

私の必須アイテム



管理係 園内バススタッフ 西村正見の必須アイテムは「ドングリ」



10月頃になると園内のあちこちに落ちてくるドングリ。それを拾い集めてピカピカに磨き上げます。

動物園にやって来る子どもたちは動物も好きですが園内バスが大好き。バス待合所で待っている子どもたちの中にはバスが見えると跳び上がって喜び子もいます。乗車してくる子どもたちにドングリをプレゼントするとうれしそうな顔をします。「ドングリはクマやイノシシの大好物なんだよ」「これはクヌギのドングリだよ」と小ネタも紹介します。以前にプレゼントしたことのある子どもたちから「ドングリのおじちゃんだ!」と言われることもあります。

そんな笑顔の子どもたちに接すると私もうれしくなります。

秋から春までの季節、私にとっての必須アイテムはドングリです。

※ドングリは西村独自の必須アイテムです。また、季節によっては用意できない場合がありますのでご了承ください。バススタッフはおしゃべり好き!ご乗車の際は、ぜひ会話をお楽しみください。

どうぶつ



テンジクネズミ(モルモット)



動物の赤ちゃんって、大人と見た目が少し違うことが多いけど、モルモットは生まれた時から毛が生えていて、目も開いていて、親をそのままギュッ小さくしたような姿。歯も生えているから、生まれた日からエサを食べることができて、二週間ぐらいでお母さんのお乳を飲むのは終わるんだ。

ネズミの仲間だから、妊娠期間は約70日間と短く、一度に2~4頭の赤ちゃんを産むよ! タッチングコーナーには、ある程度成長して、みんなの膝の上に乗る練習をしてからデビューするから、タッチングコーナーが再開して会える日を楽しみにしているよ!